

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ディスカッションスキル Discussion Skills		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
英会話II				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
David Bradley	なし	なし	授業中に指示します	
授業の概要				
一年生の会話の授業を生かし、その時慣れたペアワークの形式を使い、会話の練習を行う。毎回、それぞれ違うトピックをめぐって、自分の考えや意見が述べられるように、話し合いの形の授業をする。				
授業の目標				
①スピーキングの力を上げることができるようにする。 ②当然ながら、ヒアリングの力もついでにあげることができるようにする。 ③一年で習った文法をおさらいしながら、それをしっかりかためることができるようにする。 ④自信を持って、自分の考えや意見を述べるようにする。				
授業の方法				
一年生の時と同じようにこの授業を英語で行う。会話の授業と似た形で、先生と話す時は勿論、ペアワークやグループワークの時も英語で話すように努力して、なるべく自分の考えを積極的に話すように求められる。				
学習の成果（学習成果）				
この授業を終了すると、あなたは、 ①スピーキングの力を上げることができる。 ②ヒアリングの力も上げることができる。 ③話す時に、正しい文法を使うことができる。 ④英語で自分の考えや意見を述べるができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	Introduction to the course			
第2回目	Giving opinions			
第3回目	Sample discussion form			
第4回目	Work			
第5回目	Holidays and leisure			
第6回目	Transport			

第7回目	City vs. countryside		
第8回目	Environment		
第9回目	Pets		
第10回目	Media		
第11回目	Health		
第12回目	Law and order		
第13回目	Festivals		
第14回目	Presentations		
第15回目	Review and feedback		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	60%	積極的な参加が評価される。	
レポート			
調査報告書			
小テスト			
試験	40%	学期末試験では、スピーキングに重点をおく。	
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
教科書を使用しない。プリントを配る。			
履修上の留意点・ルール			
毎回出席することが重要です。実技の授業なので、積極的な参加が求められる。評価の対象にもなる。			